

# 西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所  
Tel 0428-22-6141

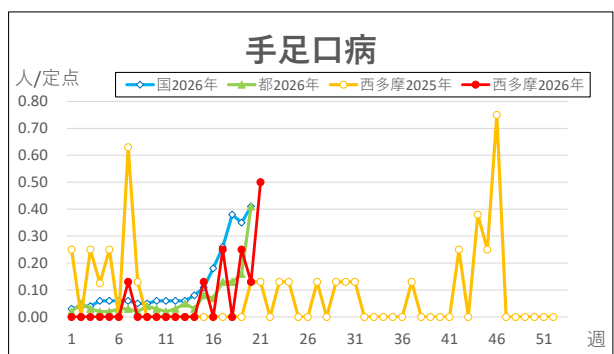
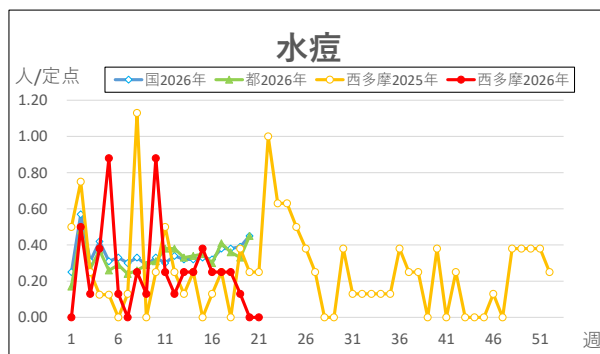
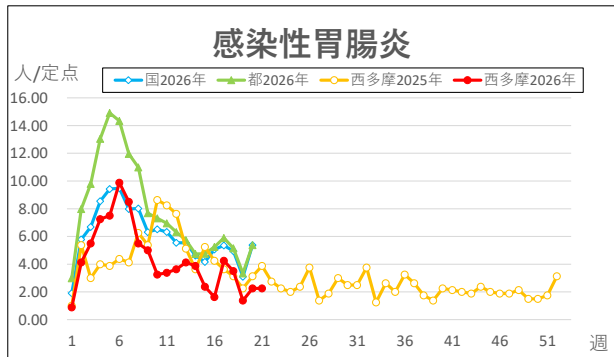
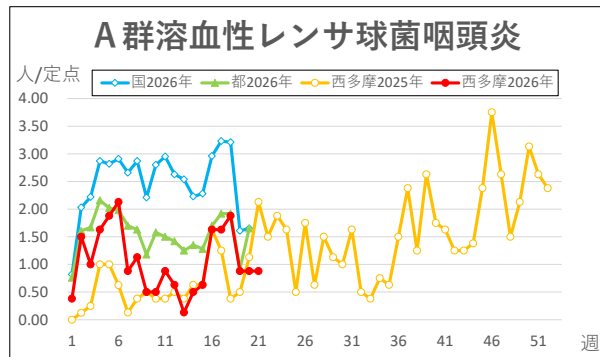
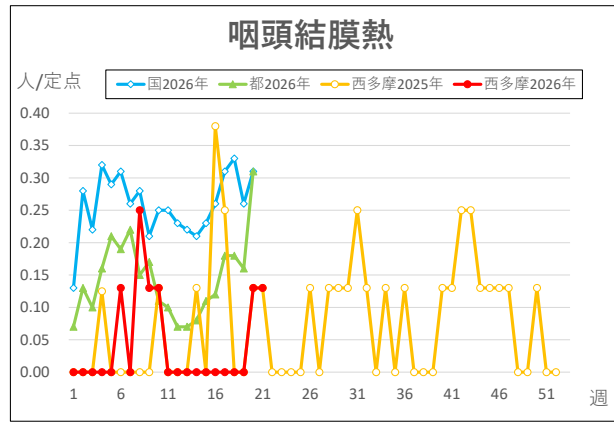
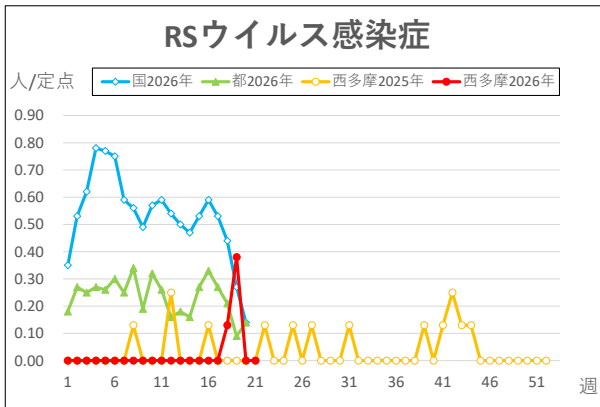
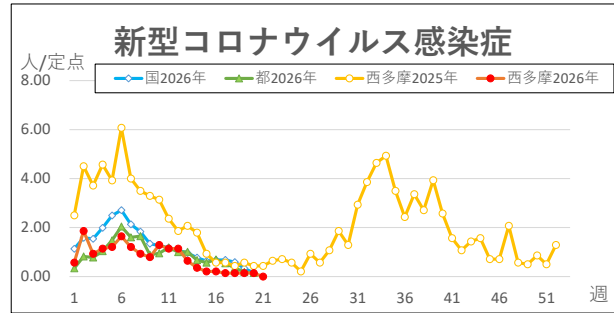
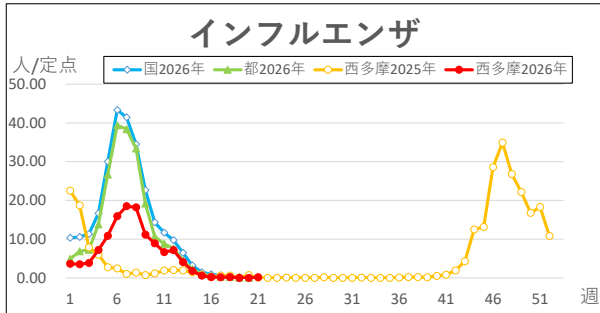


**\*管内の発生動向及び定点把握対象疾患\*** ( ) は内訳又は前週値

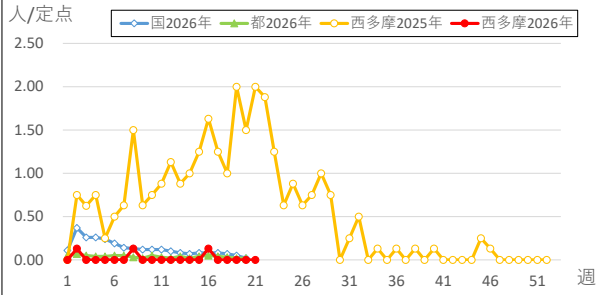
- 全数届出の疾患は、結核2件(40代:男性、70代:男性)の報告がありました。
- 管内では、手足口病0.50(0.13)、突発性発しん0.25(0.00)が増えています。
- 管内で麻疹の報告はありません。都内でも麻疹報告は減少していますが引き続き注意が必要です。

**\*管内の感染症集団発生状況\*** ( ) は内訳

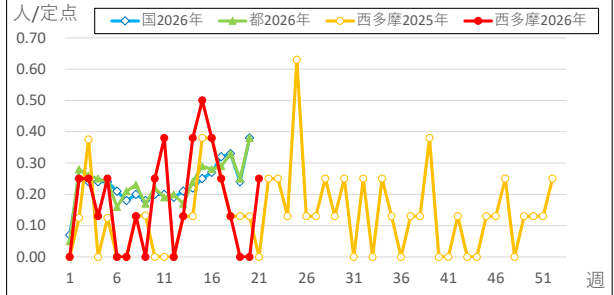
- 今週はインフルエンザ、新型コロナウイルス、感染性胃腸炎等の集団発生はありませんでした。



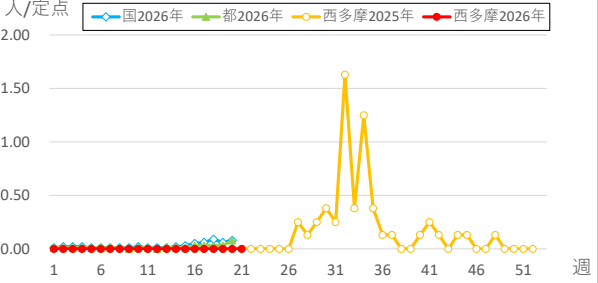
### 伝染性紅斑



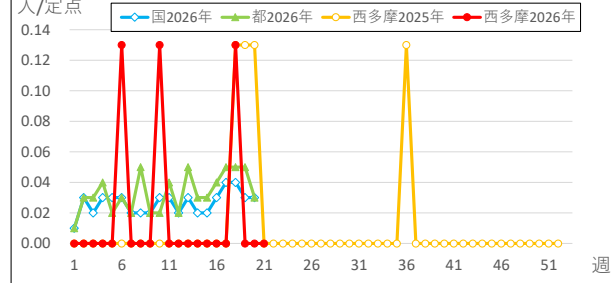
### 突発性発しん



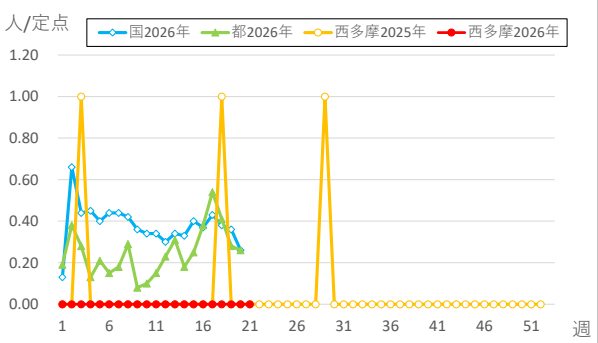
### ヘルパンギーナ



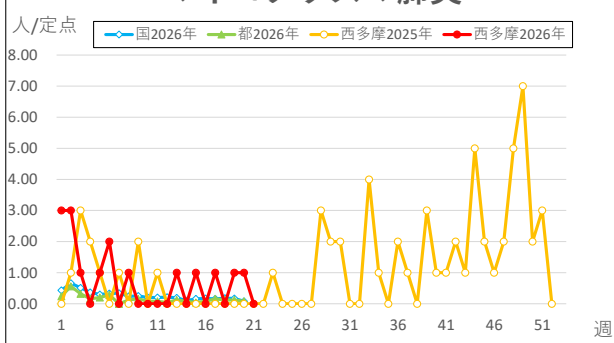
### 流行性耳下腺炎



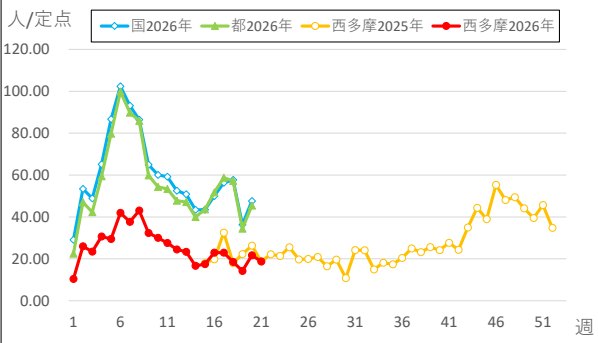
### 流行性角結膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### 急性呼吸器感染症 (ARI)



\*今週のトピックス\*

## 暑い時期はご用心!?!～腸炎ビブリオ～

お刺身やお寿司など、生の魚介類は美味しいですね。

でもお腹を壊したことはありませんか？

実は腸炎ビブリオに感染したのかもしれない。



### どのような病気ですか？

この菌は塩分を好み、沿岸の海水中や海泥中にいます。水温が15℃以上になると活発に活動します。このため、海水温度が高く、海水中に腸炎ビブリオが多い時期に獲れた魚介類には、腸炎ビブリオが付着しており、漁獲後や流通過程、調理中などの不適切な取扱いにより増殖し、食中毒の原因となります。

また、まな板や調理器具を介した二次汚染による食中毒も発生しています。

腸炎ビブリオは他の食中毒菌よりも速く増殖できる特徴があります。しかし、この菌は真水（水道水）の中では増殖しません。この菌による食中毒の発生時期は、5～6月から次第に増加し7月から9月の夏場に集中しますが、最近では、冬場でも腸炎ビブリオによる食中毒がみられます。

潜伏時間は8時間から24時間（短い場合で2、3時間）で、激しい腹痛、下痢などが主症状です。発熱、はき気、嘔吐を起こす人もいます。

### どのように感染しますか？

魚介類の刺身やすし類が代表的なものです。また、生の魚介類を調理した後、調理器具や手指などを介して二次汚染された食品でも食中毒が発生しています。

### どのように治療・予防できますか？

特效薬はなく、対症療法が中心になります。有効なワクチンはありません。

以下が具体的な予防策です。

- 魚介類は、調理前に流水（水道水）で良く洗って菌を洗い流す。
- 魚介類に使った調理器具類は良く洗浄・消毒して二次汚染を防ぐ。
- 魚介類を調理したままのまな板で、野菜などを切らない（まな板を使い分ける）。
- 夏季の魚介類の生食は十分注意し、わずかな時間でも冷蔵庫でできれば4℃以下に保存する。
- 加熱調理する場合は中心部まで十分に加熱する（60℃、10分以上）。

美味しい魚介を  
安全に調理・保存しましょう



東京都保健医療局 食品衛生の窓 腸炎ビブリオ

<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/micro/tyouen.html>

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	1週目からの 累計
インフルエンザ	25 (1.79)	8 (0.57)	3 (0.21)	2 (0.14)	3 (0.21)	0 (0.00)	0 (0.00)	2 (0.14)	1,718
新型コロナウイルス感染症	5 (0.36)	3 (0.21)	3 (0.21)	2 (0.14)	2 (0.14)	2 (0.14)	2 (0.14)	0 (0.00)	222
RSウイルス感染症	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	3 (0.38)	0 (0.00)	0 (0.00)	4
咽頭結膜熱	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	1 (0.13)	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 (0.50)	5 (0.63)	13 (1.63)	13 (1.63)	15 (1.88)	7 (0.88)	7 (0.88)	7 (0.88)	176
感染性胃腸炎	31 (3.88)	19 (2.38)	13 (1.63)	34 (4.25)	28 (3.50)	11 (1.38)	18 (2.25)	18 (2.25)	720
水痘（みずぼうそう）	2 (0.25)	3 (0.38)	2 (0.25)	2 (0.25)	2 (0.25)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	43
手足口病	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	2 (0.25)	0 (0.00)	2 (0.25)	1 (0.13)	4 (0.50)	11
伝染性紅斑	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	3
突発性発しん	3 (0.38)	4 (0.50)	3 (0.38)	2 (0.25)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	2 (0.25)	29
ヘルパンギーナ	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	3
流行性角結膜炎	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
マイコプラズマ肺炎	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	16
急性呼吸器感染症（ARI）	234 (16.71)	245 (17.50)	332 (23.71)	322 (23.00)	259 (18.50)	199 (14.21)	304 (21.71)	263 (18.79)	7,430

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>